

# 権力を告発する!

2018/05/24

No.015

公安警察による全学連大会襲撃弾劾!  
告訴・国賠ニュース

発行：全学連救対部  
03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp

# 隠ぺい・ねつ造くり返す 国家権力を許さない!

## 国家賠償請求訴訟・第6回口頭弁論

5月31日(木)15時半～ 東京地裁429号法廷

※傍聴券は抽選になります。1時間前に東京地裁正面入り口脇の傍聴券抽選所にお集まりください。

学生に白昼公然と暴行した公安警察(警視庁公安部)を法廷で断罪する――この国家賠償請求訴訟が佳境を迎えています。

「全学連大会襲撃事件」(下記参照)に関して、今年2月には小野寺裁判長と弁護団が、暴行動画の証拠を隠滅させないために、警視庁(本

庁)に「証拠保全手続き」の立ち入りを行いました(公安警察は動画提出を拒絶、裏面写真)。

5月14日には被告・東京都が『意見書』を提出しましたが、暴行を居直り続けています。真実の隠ぺいを許さず、多くの傍聴で圧力をかけるため、ぜひ裁判に集まってください!

### 「全学連大会襲撃事件」とは?

一昨年9月1日～2日に都内で開催した全学連大会の会場前で、警視庁公安部の公安警察多数が参加者に暴力的な襲撃行為を行った事件。公安警察は、「参加者のメガネや帽子をはぎ取って奪い去る」、「胸倉をつかんで殴る」、「地面に引き倒す」、「首を締め上げる」など白昼公然たる暴行におよび(右写真)、暴行をやめさせようと体を張って止めた参加者たちには、それ以上の苛烈な暴力をふるいました。

▼当日の映像を「Youtube」で見ることができます!

→「全学連大会 公安」で検索してください!



# 警察の弾圧はね返し 改憲・戦争を阻もう

今、安倍政権や中央官庁を筆頭に、文書の隠ぺい・ねつ造・廃棄が大問題になっています。とりわけ森友問題・加計問題では、財務省が前代未聞の大量の公文書改ざんを行い、もしくは安倍首相と加計某の深々とした癒着は明らかであるにもかかわらず、「記憶にない」などとふざけきった居直りを続けています。すべては、安倍政権の腐敗を隠し通すためです。

これは単発的な問題ではありません。すべては、日本という国家が再び「戦争のできる国」に大変貌しようとしている中で起きているこ



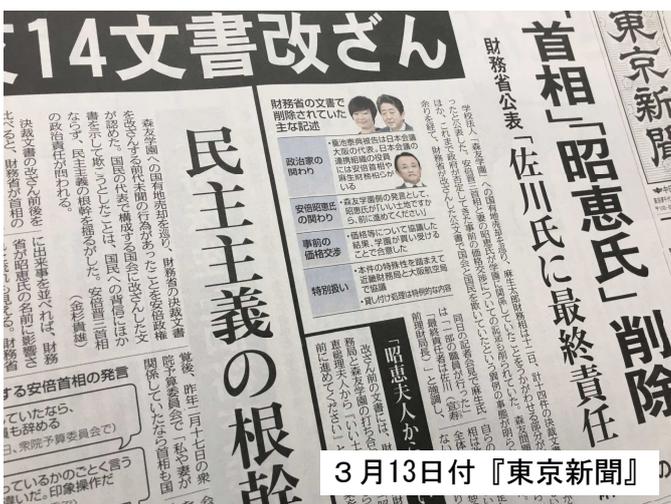
裁判長と弁護団による警視庁への証拠保全（2月23日）

とです。昨年には、反戦運動・労働運動・学生運動の壊滅を目的とし、「治安維持法の再来」とも言われる共謀罪が強行採決されました。安倍首相は、「2020年東京五輪までの新憲法施行」を掲げて、今年中にも改憲案を国会で発議しようとしています。そして、排外主義・愛国主義をあおって、朝鮮半島での戦争に自衛隊を参戦させようとしています。

戦争に向かう政府は必然的に腐敗し、弾圧を強めます。その先兵が公安警察です。私たちは、学生の闘いを暴力的に破壊しようとした警視庁公安部を許さず、その悪を全社会的に暴きます。ぜひとも、国家賠償請求訴訟への多大なご支援と注目をお願いします！



5月22日付『朝日新聞』



3月13日付『東京新聞』

## カンパのお願い

告訴・国賠闘争を闘うにあたって、弁護士費用含め多額の費用がかかります。あたたかいカンパをぜひお寄せ下さい！

【郵便振替】00190-0-766112

「全日本学生自治会総連合」